

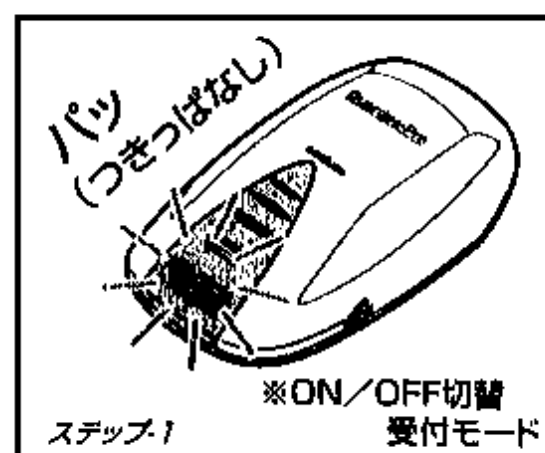
電圧パルスセンサーのON/OFF切替方法

エンジン停止時に他の電装品等の影響でバッテリー電圧が変動する車両については電圧パルスセンサーがその電圧変動を感知してしまう場合があります。このような場合は、電圧パルスセンサーをOFFにして下さい。

ステップ 1

警報機本体上面のモード切替ボタンをセキュリティインジケータが点灯するまで長押しします。(約1秒)

この時警報機本体は、電圧パルスセンサー ON/OFF切替受付モードとなり、セキュリティインジケータは連続点灯となります。



ステップ 2

セキュリティインジケータが連続点灯の状態、モード切替ボタンを1回チョン押しします。

この時セキュリティインジケータは1秒に1回の点滅を始めます。

メモ

セキュリティインジケータの1回/秒の点滅は、電圧パルスセンサーがON設定されていることを表しています。
お取り付け時(初期状態)はON設定になっています。



Point!

セキュリティインジケータが1秒に1回の点滅ではなく、速い点滅を始めたら...

モード切替ボタンをチョン押しではなく長押ししてしまうと、「スタンバイモード時間切替モード」になってしまいます。もし、セキュリティインジケータが1秒に1回の点滅ではなく速い点滅を始めたら、モード切替ボタンを連続で2回チョン押しして下さい。セキュリティインジケータは消灯し、設定操作を行う前の状態に戻ります。その後、改めてステップ1からやり直して下さい。

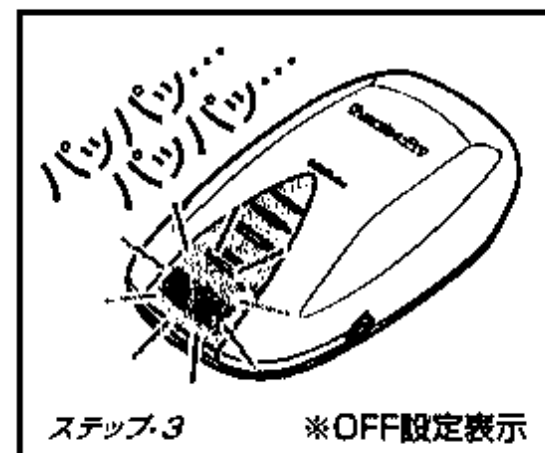
ステップ 3

セキュリティインジケータが1秒に1回の点滅をすることを確認した上で、もう一度モード切替ボタンをチョン押しします。

この時、セキュリティインジケータは1秒に2回の点滅を始めます。

メモ

セキュリティインジケータの2回/秒の点滅は、電圧パルスセンサーがOFF設定されていることを表しています。



Point!

セキュリティインジケータの点滅パターンで電圧パルスセンサーの設定モードが確認出来ます。

モード切替ボタンをチョン押しする毎に電圧パルスセンサーの設定は、ON→OFF→...と順に切替わります。ON、OFFのどちらになっているかはセキュリティインジケータの点滅パターンで確認して下さい。

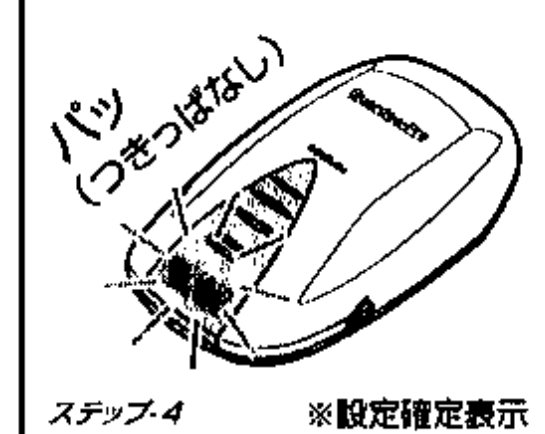
- ・1秒に1回の点滅をしているとき→「ON」
- ・1秒に2回の点滅をしているとき→「OFF」

ステップ 4

ON/OFFの設定が決まったら、モード切替ボタンをセキュリティインジケータが連続点灯に変わるまで長押しします。(約1秒)

メモ

セキュリティインジケータが連続点灯に変わった時点で電圧パルスセンサーの設定が決定されます。



ステップ 5

セキュリティインジケータが連続点灯の状態、モード切替ボタンを1回チョン押しします。

この時セキュリティインジケータは消灯します。

OK!

以上で電圧パルスセンサーのON/OFF設定は終了です。